

中齋塾東京フォーラム  
平成 31 年度（令和元年） 第 9 回講話

令和元年 10 月 5 日  
於 湯島聖堂

おはようございます。レジメどおりいきましようか。雑談からいくと、雑談の方が長くなってしまうから、なるべくレジメにそって、お話をいたします。

《論語の視点》（季氏篇 3・4）

【三】孔子曰く、<sup>ろう</sup>魯の<sup>こうしつ</sup>公室を去れること<sup>ごせい</sup>五世。政<sup>まつりごと</sup>大夫に<sup>たいふ</sup>逮べること<sup>しせい</sup>四世。故に<sup>ゆえ</sup>夫の<sup>さんかん</sup>三桓の子孫<sup>しそん</sup> 微なり。

「五世」だから、前回と同じような流れが続いていると思っております。「禄」は税金です。租税とか貢ぎ物。だから税金のことだと思っていただければよい。

魯の国の君主が税金を徴収する実権のトップですが、「公室を去れること五世」は魯の国の君主から、租税の実権が無くなって五代続いてしまった。

前回、足利幕府の話をしました。分かりやすかったのは、足利の実権を細川家が握った。細川家が衰えてきたと思ったら、三好長慶が握った。今度は松永弾正がその力を奪い取った。今の日本でいけば君主の権限は何なのか。日本の場合、天皇陛下の権限は別扱いですので、安倍内閣は、安倍総理大臣の権限を誰が握っているのか。官房長官か、幹事長かねと。そうすると官房長官は、副官房長官が動かしているのではないのか、幹事長は幹事長代理が動かしているのではないのか。そうすると考えたりします。

税金の実権を君主から重臣が奪い取って、「政大夫に逮べること四世」重臣が奪い取ってもせいぜい四代、四世で終わり。

「故に夫の三桓の子孫 微なり」基本的に春秋時代は下剋上です。この三桓といわれる実力者が魯の国の政治を司っている。力を誇った三桓も、上の権限を奪い取ることをやっているから、彼らも長く持つものではないよと孔子が言ったということです。ここで言えるのは、正しいやり方で、税金を取るポストに就いたら、正しい道を正しく歩んでいけば、長く続くし人様も了解するけれど、真つ当なやり方ではない道でいけば、たいがい最後は悲しい道を辿ります。正しい道を正しく歩きましょうという話になります。

先程の税金の話で考えます。あの消費税は正しいか正しくないかで言いますと、あれは

正しくありません。私は間違いだと思っています。だってね、物を買って 1 割取るんですよ。不埒千万だと思ふ。人の懐に手を突っ込んで 1 割も持って行く権利がどこにあるかと思う。10 月 1 日から消費税を 10% 取ることに對して国民が騒がないように、素直に迎えるようにするために、軽減税率みたいな目くらましをかけてやっている。これは官邸から、軽減税率を皆さんに盛んに浸透するようにしてねとか、何らかのプッシュがあったと思います。なければあんなにガチャガチャやるわけがないと思っています。

それで今の日本のメディアは、氣を悪くしたら、その関係者はごめんなさいだけでも、何で新聞だけ 8% なのか。人の懐に手を突っ込んで 10% 取る。でも新聞購読者は 8% です。コンビニで買ったら 10% でしょう。あんなふざけたやりかたがあるかと思う。そこから見えるものは、関電がいろいろ叩かれているでしょう。最初は、地元の顔役が関電にお金を上げて、関電側がお金を貰う。なにか話が逆じゃないのと思ったら、時間が経つにつれて、単なる顔役の勢力増強の為ということで、どっかで聞いたような話じゃないか。それがそのまま、今回の 10%、8% に繋がって見えるんですよ。繋がって見えるというのは、国民には暫らくの間、目くらまし掛けときなさい。そうすればいいことしてあげるからね。それで、いうこと聞かなかつたら酷いぞ、叩くぞというのが両方みえます、飴と鞭でメディアは軽減税率が花盛りです。それで 10 月 1 日通りましたよね。おかしい話だと思う。

その陰にあるのが、北朝鮮がミサイルを発射しましたでしょう。あれも目くらましに大いに寄与している部分がある。報道すべきものを、なぜ報道しないのかと思う。まだ調べてないけれども、北朝鮮はミサイルを発射した。色々な新聞を眺めて見たけれども、日本海に原子力潜水艦が集結したことは、どこも書いてない。

鳥取から神戸にいたる日本海側に住んでいる人の話です。「大変な事態だよ。日本海に原潜が並んでいる。日本の自衛隊の潜水艦も並んでいる。日本海に潜水艦が並んでいるのを見たのは、この歳になって初めてだ」と。また横田基地の近くに住んでいる人「今日はブンブンうるさいね。アメリカの戦闘機が何機も何機も飛んで轟音がうるさい。日本の自衛隊の飛行機も日本海に向けて行っている」と。この 2 つの話は繋がっているじゃないかと思う。北朝鮮のミサイル。日本海に原潜、日本の潜水艦が並んでいる。横田基地のあたりは日本海に向かって進んでいる。地元の人達、そこに住んでいる人達は、そういう話を承知なのに、何で新聞に出ないのか。テレビに出ない、ネットに出ない。これからネットにどんどん出てくるのではないかと思います。

もうひとつ、大野さん昨日の話をしていいですかね。中国と韓国と北朝鮮の図式で見ると、ミサイルがどっちを向いているか。中国のある地域から、北朝鮮方向にミサイルが発射できるように向いていると思っていたら、逆に北京に向かって、筒先が向かっているという話をお聞きしました。これも話が繋がるわけですよ。内乱とか内戦とかにです。中国に据え付けてあるミサイルの筒先は北京に向かっている。内戦が始まるとしたら、北京をいつでも攻めることができる。それで日本側は、アメリカの原潜がずらっと並び、日本の潜水艦も並ぶ。戦闘機がどんどん飛んでいる。これ何を意味しているのか。第三次世界大

戦のきな臭い話が、だんだん身近に迫ってきたというように捉えられます。「禄」の、税金の話から広がりましたが、時事評論の部類でやりました。

**【四】孔子曰く、益者三友、損者三友。直を友とし、諒を友とし、多聞を友とするは益なり。便辟を友とし、善柔を友とし、便佞を友とするは損なり。**

「直」は正直者。正直な人を友人にするのが良い。そうすると自分自身は正直か。周りから見て、あいつを友達にしたいなと思えるような存在かどうか。人を騙してばかりいたら人は離れますね。安倍さんは離れないね。何でだろう。権限を持っていてお金をばらまくからでしょうね。正直かどうかといえば、正直じゃないですね。総理大臣になって末期になると、たいがい顔がどす黒くなってきて悪相になる。けどあの人は顔がどす黒くなってないし、奥さんと飛行機のタラップを下りる時は、麻生さんのアドバイスどおり必ず夫婦で手を握り合って降りるでしょう。まあよくパフォーマンスやるなど見えています。最近の顔を見ても顔がどす黒くなってないし、みるからに悪相という所まで行ってない。これはまだ続くねと感じます。だから顔つきを見ていると出ますよ。最近したたかになったなど思うのは、中国の広報専門のアナウンサー。前は中国の主張を言うときに、目がきょときょと動いていた。最近は見据えて喋りますから、腹が黒くなったなど思っています。けっこう女性は化粧で隠せるから、目がきょときょと動くかどうか。顔がどす黒くなってくるかどうか。目は口ほどにものを言うといいます。表情とか目つきとか、本当にそのとおり出てくると思う。それで「直を友として」正直者だったら、そういうことしないでいいと思います。

「諒を友とし」、昨日の午前中に大野さんとお会いをしました。その中で、「楊名時という先生をご存知ですか」って聞いたら、「はい。有名な方ですね」と言います。「どういう方ですか」って聞いたら、50数年前に私が習った先生です。中国語を楊名時先生に教わったそうです。一流の通訳になるには言葉だけではなく、学識が必要となります。中国との人材を養成する講師で、学生側が7~8名、教える先生が10人超している。凄いなと感じます。楊名時先生は中国語を主として教えてくださったけれども、色々な話が広がって、とても有難い先生だったという。その先生は、生きておられるのでしょうか。

一亡くなりました。

いま生きておられれば95歳ということで、この本の中で、誠実の誠が非常に強く印象に残りました。ここの「諒」という文字は、誠実ということです。誠実というのは誠の道。

今月15日に岡山県高梁市に参ります。そこで山田方谷記念館に行きます。あの方も誠の道とあります。

この本を読むと、誠というのは天に通じる道。天の道という解説がしてあります。面白い解釈だなと思ったのは、誠実の誠は、言うことを成す。言うことを実践する。したがって、言ったら必ず実行するというところに繋がるわけです。これは実際にやっていることだなと思いました。そうすると「直を友とし、諒を友とし」というところは中斎塾フォーラムでいつも言う。嘘はつかない、約束は守るという言い方、それそのままです。嘘はつかない、約束は守る。これは日頃から色々な形で申し上げます。

仮の話で、例えば家族や近所の人とか、親しい人が交通事故に遭う。全部ご自分のことに当てはめて考えてください。

事故だといわれて飛んでいったら、我が子が倒れて地面に横になっていて治療を受けている最中のときに、お医者さんが、ご家族ですかと言う。そしたら、難しいですね。お別れの言葉を言ったり聞いたりした方がいいですというふうな話をお医者さんがその場でしたとする。その話を受けて、我が子に対して必ず助かるから頑張りなさいと言うか。お医者さんが言った言葉をそのまま、あの世は極楽だからねと言うかの話です。どっち言うかですよ。お医者さんは客観的に当たり前のことを当たり前に、ちょっと脚色があったとしてもやっぱり伝えると思います。でもそれを聞いた親の立場ではどっち言うかですね。難しいです。たぶん私は自分の子供のときだったら、顔色が青くなっていて、もう死にそうになっても、必ず助かると思うと思います。それは吐いても良い嘘だと私は思う。だから嘘は全部が悪いとは言えないなと思います。この「**諒を友とし**」誠実で信頼できる人間を友人にしましょう。自分が他人に対して誠実かどうか。信頼を受けているかどうかということここでここを読めばよい。

「**多聞を友とするは益なり**」これは古今東西の学問に通じている。縦の学問・横の学問と両方に通じている。それを一言でいうと博識である。学識豊かな人間。ただ、今の時代はすぐネットで見ます。岡本さんは、ポケットからさっと出して調べる。合っていますとか、ちょっと違って見ますとか。今の時代は早いですね。最近は私の話のあとに聞いてこられる方がいないのは有難いなと思います。それは、このおかげだということですね。

「**便辟**」は、口先上手だと思えばいい。口先人間。あの人は良いことを言うけれど、言うことは信用できない。その場は何となく納得するけれども、言っていることがころころ変わる。一晩ゆっくり考えて翌朝起きて反省してみると、昨日のあの人の話はちょっと変だったよなということが何回も繰り返される。そうすると、聞いているそばから、またこの話は違う説明になるんじゃない。この次会ったら違うこと言うのではと思うようになると信用できない。口先人間は、いけないよということです。

「**善柔を友とし**」これ政治家は多い。見かけだけは良いが、腹が黒い。演説するときだけ良いことを言う。でも透けて見えますよね。ということで、見かけだけは良いけれども、中身はまるで信用できないのが善柔。「**便佞をともとするは損なり**」先ほど述べました「**便辟**」と「**便佞**」は、同じ感覚で見えていいと私は思っています。口先だけの人を友人にするのはよくないことだと思えばよいです。

貝塚先生が善い言葉で「正直、誠実、博学これを友人にせよ」と書いてあります。貝塚先生は分かりやすい説明をしますね。それから、宇野先生は細かくきちんと丁寧に説明してあるのだけど、最後は何が言いたいのだろうという部分があると私は思う。石川忠久先生にすると、私の恩師ですと言うかな。あんまり悪口は言っちゃいけないね。宇野精一先生は、真面目で温厚で奥が深い先生だと思います。

大学者でも、一般の素人に分かりやすく説明するのは大変難しいことだと思います。論語の視点の話はここ迄ですね。

### 《時事評論》

昨日の読売新聞で、1969年にノーベル経済学賞が始まり、今年で50年になる。半世紀ということです。半世紀というのはひとつの節目、区切りです。自分に置き換えて、いろいろお考えになるとよいと思います。

ちなみにノーベル経済学賞50年。大野さんが楊名時先生に教わって50年。吉良さんと私は二松学舎の同窓生ですから、卒業して50年。我田引水か。来月は卒業して50年の節目の集まりをいたします。あちこちに案内状を出したら、もう行方不明で宛先が分からない葉書が結構ありました。だいたい同窓生の元締めみたいな人に聞くと、宛先が分かっていたのですが、今は不明が多くなり返信も3分の1ぐらいかな。今回は、ちょうど半世紀なら出席しようかという方が多かったです。

半世紀は相当大的きな節目だなと思います。半世紀という言葉で頭に浮かんだのは、木内信胤先生が、国家が国民を騙せるのは、せいぜい100年ぐらいだという言い方をされました。100年以上国民を騙し続けることはありえない。何故ならば、親不孝者の考えた理論が100年続くわけがない。中国共産党が100年続くわけがない。ロシアを見てごらん。100年続いたかいという話がありました。その話の時に私は「根拠はあるのでしょうか」みたいなことを聞いたら、「君ね、僕は半世紀ずっと歴史を見続けている。半世紀みたということは、1世紀はだいたい分かるんだよ。1世紀考えるのには、半世紀生きてずっと考え続けてごらん。まあ、間違いは段々なくなってくるから」ということを言っておられました。そこら辺の私流の解釈でいくと、なるほど半世紀か。かつて梅次郎先生が「長生きしたほうがいいよ」と言います。「どうしてですか」と聞きましたら、「自分より年上の人間はみんな死ぬから、私の言うことが全部正しくなる。誰かから聞かれて何か答えたときに、私より上の人間がいれば、そちらに聞きに行くことがありえるけれども、私より年上の先生がいなくなれば、みな私に聞きに来るに決まっている」と。勿論それだけの学識もまた積んでいる。だから、私の言うことが正しいと通るから大丈夫だよという年代に私も入ったのだなと思いました。半世紀が過ぎたということは、とても良いことです。

50年という感覚で見ますと、東日本大震災以降、想定外という言葉が多すぎます。今回

は台風 15 号が千葉市付近に上陸して、千葉を中心に関東圏が 70 万件以上の停電です。

私の兄は千葉の大網白里に住んでいますが、夜中寝ていたら顔に水が垂れてきた。起きて外を見たら風が凄かった。その時は、まあいいやと思い寝てしまった。翌朝起きて見たら、水が漏れていたのは若干でしたが、庭にあった大きな木が根こそぎ倒れていた。垣根も全部倒れていた。これは自分で直すわけにはいかない。専門家を呼ぼうと業者に声をかけた。そしたら、「雨漏りを直す予定を入れておきます」と業社の返事があった。それで兄は「良かった。いつ頃来てくれるのか」と聞けば、業者は「分かりません」と言います。「どうして」と聞けば、「あなたは 256 番目のお客様ですから、255 件やってからでないといけないんです」ということです。それから水も出なくなった。それで水道局へ電話をかけたら、水道は止まるものなんだそうです。電気が来なくなって 10 日経つと自動的に非常電源が使えなくなります。10 日経ったら自動的に水は止まる事になっておりますという返事です。これは、ご自分の所、調べた方が良いという話になる。その時の言い訳。千葉の停電は想定外。こんな台風が来るなんて思いもしませんでした。自衛隊が現場に行っても、東電の人がいなかったから高压線にさわれなかった。自衛隊もこれは想定外ということのようです。その想定外でいけば、関電と地元の顔役、助役との付き合い方は想定内で収めようと思ったら、想定外で出てしまった。自分の考えているものと違うものが出るとみな想定外。私はここに長く住んでいるんだけど、初めてのことでですよという言葉がどれだけあるか。人間の生きていられる期間は、いくら長くたって 100 年ぐらいでしょう。

この間、福島に住んでいる社員が転勤で静岡に行った。話を聞いたら、静岡に転勤をして、まずやったことは災害対策で備品のゴムボートを買いました。そしたら地元の営業所の人達は「なぜゴムボート買うのですか」と。「だってここは海の前じゃないか。私は海でやられたから」と。「え、あれは別の場所ですよ」と言うので、「南海トラフというのがあるだろう」と。「あれはネットとかテレビで流しているものですよね。でもここはまだ起きていませんから」と、会話がもうかみ合わない。ちなみにゴムボート買っている家ありますか？（手は挙がらず）

小さいゴムボートぐらい買った方がいいかもしれませんね。そう思います。特に海や川が近い方。湖が近い方もと思います。これが 50 年で想定外か。

あと豚コレラか。豚コレラというだけだと関係ないですよ。幕張メッセで、農業フェアがある。その中で鳥獣対策のコーナーがあります。鳥獣対策というのは猪、鹿それから猿。熊もいるか。そういう生き物を撃退するのはどうしたらよいかということです。シムックスという会社は目端がきいているなと思ったのは、群馬県で豚コレラが出てきたねと聞いたら、豚コレラ対策の消毒液を売ることにしました。「売れるの？」と聞いたら、関係者にあたったら見つかりましたので、幕張メッセの鳥獣フェアで売ります。自治体に試供品を配りますというので、なんとかシムックスは潰れないですむかなと思います。気が向いたら行ってください。あとで招待状を差し上げます。

先ほど代表幹事さんと話をしていたら、起きたら左腰が痛かった。左腰だけストレッチをしてきたという話をしていました。

私は営業所を毎月まわって、腰痛や肩こり対策の体操や、肥満対策はどうするかを言って歩いています。中斎塾フォーラムの中でも、そういう話をしていたじゃないと言ったら、代表幹事さんは元気な時は気にしないから、話も右から左に抜けていくと言いました。そうだよ、人間は自分に迫ってこない、身につまされないですよ。

「今までは人のことだと思ふたに 俺が死ぬとは こいつはたまらん」辞世の歌です。誰でしたっけ。素直ですねと思います。ということで人の話は、自分が元氣であってもよく聞いて、そのうちと予感が若干でもあったらメモを取ると良いと思います。

あとは、今日の読売新聞で「香港 緊急条例を発動」香港は半世紀ぶり、デモはマスク禁止。これは緊急条例だから、何でも権限与えるよというものです。

安倍首相は、全世代が安心できるように社会保障制度を充実させていきたいと言う。私、思うのだけれど、見た瞬間に嘘じゃないかと思う。もしかすると、政治家でここら辺まで来た人は本気でそう思っているのかもしれない。国民はできっこないよ、嘘だよって思う。ほとんどの政治家は、できるわけないと思いながら、私を信じてください。間違いありません。こう実行しますって言うけど、そうじゃない事ばかり続くから、あの人達の言うこと嘘ばかりだと思っています。

日経新聞で、トヨタが 5 割を中途採用者にすると決めた。トヨタを眺めていると今にも潰れるという発信を出しっぱなし。ひとつの代理店で共食いさせているでしょう。何の車を売ってもよいということになっているし、色々な会社を吸収合併だとか、あれはこのまま何も手を打たないとトヨタが潰れるっていうことを明確に発信しているんでしょうね。

かんぽ生命もふざけていると思います。かんぽ生命二重徴収とか書いてある。これも体験談でいきますと、民営化した初代の社長が「私が社長に就任したら郵便局員に年賀状のノルマや割り当て目標が判明した。何故わかったかという、金券ショップで年賀状が安売りされているから、私が見つけて止めさせました」と。なに大きいこと言っているかと思う。私が関係している会社の群馬郵便遞送の予算がどんどん増えている。何故か。それは年賀状を買い取らなきゃいけない。夏場の葉書を買取らなきゃいけない。なので予算をいっぱい組んでいる。郵便局の中の、なんとか部長、なんとか課長、なんとか所長とかね。呼びつけられて、今回は 1000 枚頼むよ。悪いけど 500 枚頼む。あっちこちの所から、べらぼうな量を買わされる。買った葉書は、すぐその日のうちに換金に行かないと大変なことになる。ということがございまして、この時事評論からいくと、大きくなった会社は、トップ次第で潰れるし、伸びる。今は極端なものが目の前に出ていると感じます。

## 《恒例の質問》

畑中さんが見えているから、嘘ついたか・つかないかを聞こう。久しぶりでしょ。そういう質問をします。

・1ヶ月間は良い日が続いたなと思われる方、いかがでしょう。

・嘘はどうでしょうね。さっきは良い嘘もありますよということ言いましたから、そういうのもひっくるめまして、比較的、心の咎めるような嘘はついてない。

そうか真っ黒けになっちゃうと、嘘言っても心咎めないですもんね。場所によって、そういう言い方を変えなきゃいけない。矢野弾先生に言わせると、「あなたが頑張る時代になったんだよ」と。「だって今時、嘘をつくまで通る訳がない。今あなたが言っているのは時代の流れ、これからの日本が世の中をけん引しなきゃいけない。そういう国柄なのだから、あなたが今やっていることは、世の為人の為になるから頑張らなさい」ということです。

・ここ1ヶ月間、有難うと言ひ、有難うと言われている。

・ここ1ヶ月間は、健康法を毎日やっているね。やってないなと思う方は、夜寝るときに、呼吸法だけで健康法実践です。

・自分磨き1ヶ月間、よくやったなと我ながら思う方。

不思議だね。自分磨きは手が挙がらない方が多い。自分磨きは事上磨錬ということで、日常生活を送る中で切磋琢磨する友人がいる。または自分でこれをやったことによって、自分を磨いている最中という実感がどこかにあれば、ずっと手が挙がると思う。

好きなものを食べたいだけ食べる暴飲暴食は駄目ですね。先ほどお菓子を食べましたけども、私は塩分6から7・5と言われていて実行しています。そしたら油のコレステロールが増えたと言われた。私のコレステロールが下がらないのは、普段の間食がいけないのかなと思って、間食のお菓子を見せました。そうしたら「こんな物を食べていたらコレステロールが増えるに決まっているじゃないですか」と言われた。お医者さんと交渉してね、1日1個ぐらいなら食べても大丈夫でしょうという話になりました。そこにお菓子があるからいけない。食べちゃう。しょうがないから、普段食べているお菓子の3割ぐらいに今度抑えようと思っています。それだって自分磨きのひとつだ。

・昨晚、明日を過去形でイメージして眠れた方。

それからお伝えしなきゃいけないことをちょっとお伝えしておきます。9月24日に、次世代の経営に関する若手の社長を集める勉強会を北関東フォーラムで始めました。東京フ

オーラムでもやれたらいいねというのを酒井さんが言っていました。ここら辺まで時事評論プラス説明事です。

### 《基本哲学 足るを知る》

知足に関して引っ掛かったのがある。楊名時先生のところで、引っ掛かった科白が、「誠の道」ということを、かなり強調しておられた。その中でまたもうひとつ。単純明快に言っている科白があった。これからは意識です。

全世界の人々は仲良しになればいい。「仲良し」という言葉は良い言葉だなと思った。良い言葉が書いてある中で、これはぐさっときました。仲良し。

そこに「ほどほど」という言葉をたして、ほどほどに仲良しだったら、そう問題はない。これからの世の中、日本の中で生きていくときには、足るを知るが良い。それは何にでも通じます。ほどほどに仲良し。ほどほどにご飯を食べ、お酒好きな人は、ほどほどにお酒を飲み。健康も健康オタクになりすぎたら危ないから、ほどほどに健康。さっき左腰をいじっていたら清水先生が来て、私に悲鳴を上げさせようとげん骨でぐりぐりやる。やっていただいたら気持ちよかった。普通の人なら飛び上がる痛みですが、たまたま脚は鍛えたから少しぐらい押されても、力入るとそのまま跳ね返せます。何事も全部ほどほどにとくっ付けるとまるやかにいきますよ。

### 《テーマ 健康》

最近、体重が70キロを割りはじめたのですが、氣力体力はある。柔道の顧問と毎週1回、力づくで押し相撲をやる。ちょっと氣力が衰えているなと思うと簡単に押し出される。70キロを割っていても、今日は充実と思っていると、軽く押し出せます。だから氣力というのは凄いものだなと思う。それも「ほどほどに」というので、リラックスしてやっているとさらにパワーは倍加します。ほどほどに力を抜く、抜き方を覚えると健康に直結するなと思います。

最近、年配の人とお話しするなかで、体がどうのこうのと言う人は、だいたい自分の手入れをしていない。ですから自分の体験談と合わせて言っているものが、60代を過ぎたら、1日30分は体の手入れをしましょう。65歳を過ぎたら、その倍の1時間は手入れをしたほうがいい。70歳を超したら、1時間30分は体の手入れをする。

後期高齢者になったら、2時間は毎日自分の体を手入れしなきゃいけないだろうと思います。その理由。無理したなと思うと、朝起きた時に体がこわばっていることがある。手も動かないぞと思うことがある。だいたい30分ほどストレッチすると自由に動くことになるけれども、普段やらない人がやりだしたら2時間ぐらい体の手入れをしないと、普通に

動かない。天風先生の本の中で、半日は俺の時間。何をしているのか。単なる足踏みをしている。半日かけて足踏みをしたりして自分の体をケアしている。だから残りの時間の講演は結構思うようにいく。80歳を過ぎて元氣はつらつに見えるのは、必ず見えない所で努力をしているからです。くれぐれも後期高齢者になられた方は、自分の体のケアをいたしましょう。有難うございました。

## 《質疑応答》

会員ー関電が報道されていますが、どう思いますか

関電は、こんな人達がまだ生き残っているのかと最初はきょとんとしました。助役が（自治体側が）金品を関電にあげる。で、その受けた関電側の偉い人達は有難うと貰って、自分の懐に入れて終わりでしょう。自宅で保管しているって、なに言ってんだろう。全部懐に入れたって話じゃないかと思う。何で、その助役がそんなにせっせとやるのか。受け取らない人には恫喝して渡しているわけでしょ。なんのことはない、その助役の関係している会社に、どんどん仕事を出し続けていく。それも、その会社だけに出す。日本古来の談合の図式がそのまま当てはまるじゃないかと思います。報道の仕方が違うんだなと思いました。日本の国はもともと語らいの国だから、談合専門の国。談合の国柄で今まで生きてきたのを、途中で西洋流の競争入札みたいなことをやったのが、日本の国の間違いでしょう。正しく談合を続けていく方が日本にとっては良いことだと思っています。関電の人達は西洋流を取り入れず、日本流にきちんとやればいいのになと思いました。

会員ーキーマンが亡くなってからでできた。

日本の酷いところです。新聞も購読は8%というのは、誰かが亡くなれば無くなりますね。ということで、誰かが亡くなればというのが世の中多すぎる。日大だって、新聞一面に広告を出していましたが、日大の理事長が亡くなれば、やり方は変わるだろうとか。

この間はテコンドーだ。テコンドーのトップは、あれほど酷い顔はないですね。心の中の歪みとか、腹黒さというのが出てきていると思いました。やっぱり関電のトップの人達の顔つきも、やましいことがある顔だな。

誰かが亡くならない限り、その先へは行かない国柄になってしまった。本日はここ迄です。有難うございました。